

〔日向・東臼杵地区〕実践報告

【書くこと】

ことばを生かし、学びをつなぐ

国語教室の創造

～自分の表現を磨き、意欲的に
創作活動に取り組む生徒の育成～

日向市立財光寺中学校

島原 沙弥香

目次

はじめに

実態の分析

研究の内容①

研究の内容②

研究の内容③

成果と課題

日向・東臼杵地区



若山牧水



歌人(1885～1928)
旧東臼杵郡東郷村坪谷
(現日向市東郷町)

白鳥はかなしからずや
空の青海のあをにも
染まずただよふ

第47回牧水かるた大会



はじめに

実態の分析

研究の内容①

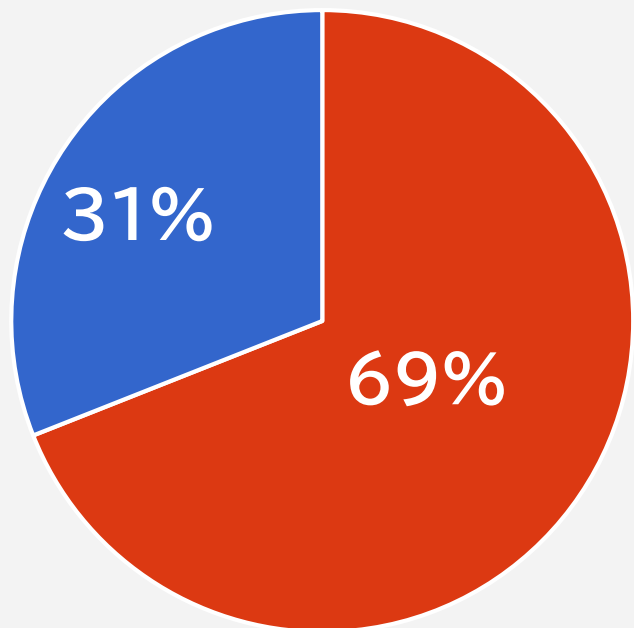
研究の内容②

研究の内容③

成果と課題

生徒の実態

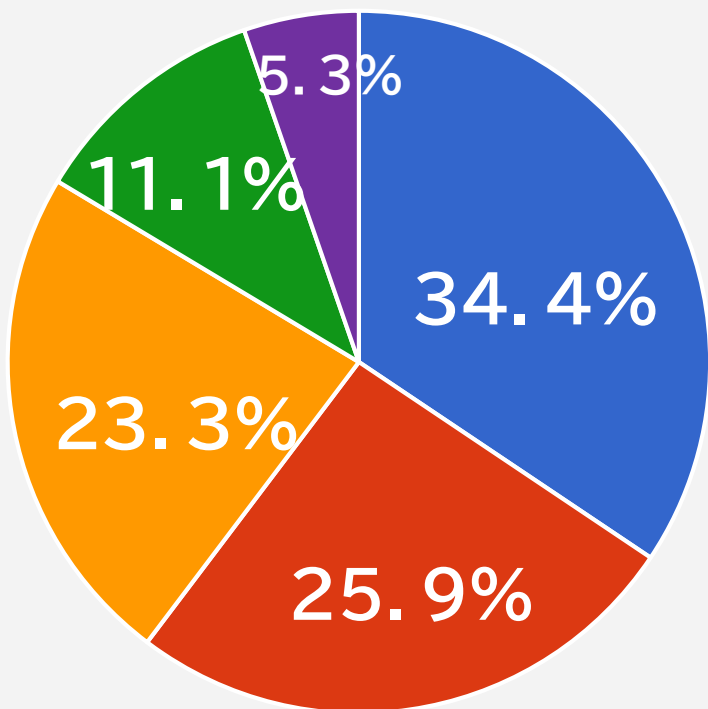
国語が好きである



- あてはまる
どちらかといえばあてはまる
- あてはまらない
どちらかといえばあてはまらない

生徒の実態

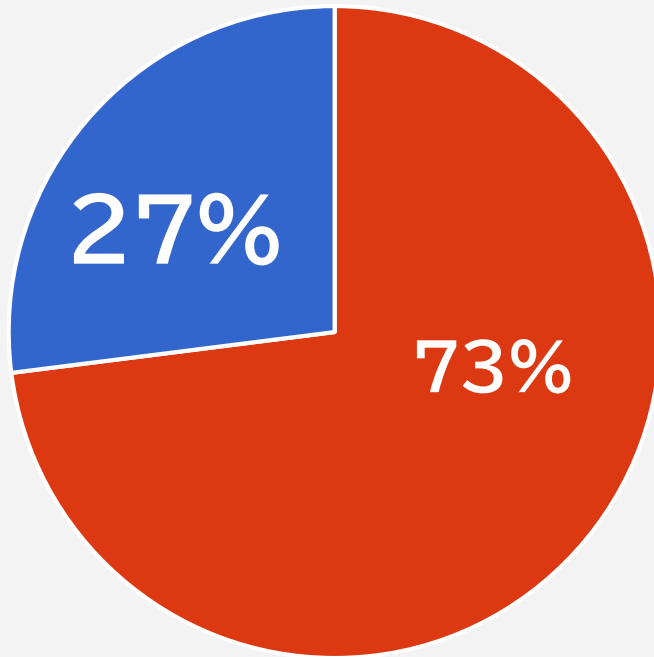
特にどのような学習が苦手だと感じますか。



- 漢文や文法の学習
- 物語や説明文を読み解く学習
- 自分の考えや意見を書く活動
- 物語や詩・短歌・俳句などを創作する活動
- その他

生徒の実態

書いてみたが満足できる文章ではないことがある



- あてはまる
どちらかといえばあてはまる
- あてはまらない
どちらかといえばあてはまらない

令和4年度全国学力・学習状況調査

問題番号2三

〔問題の趣旨〕

自分の考えが伝わる文章になるように、
根拠を明確にして書く

正答率

宮崎県

43.9

全国 46.5

無回答率

宮崎県

10.8

全国 9.0

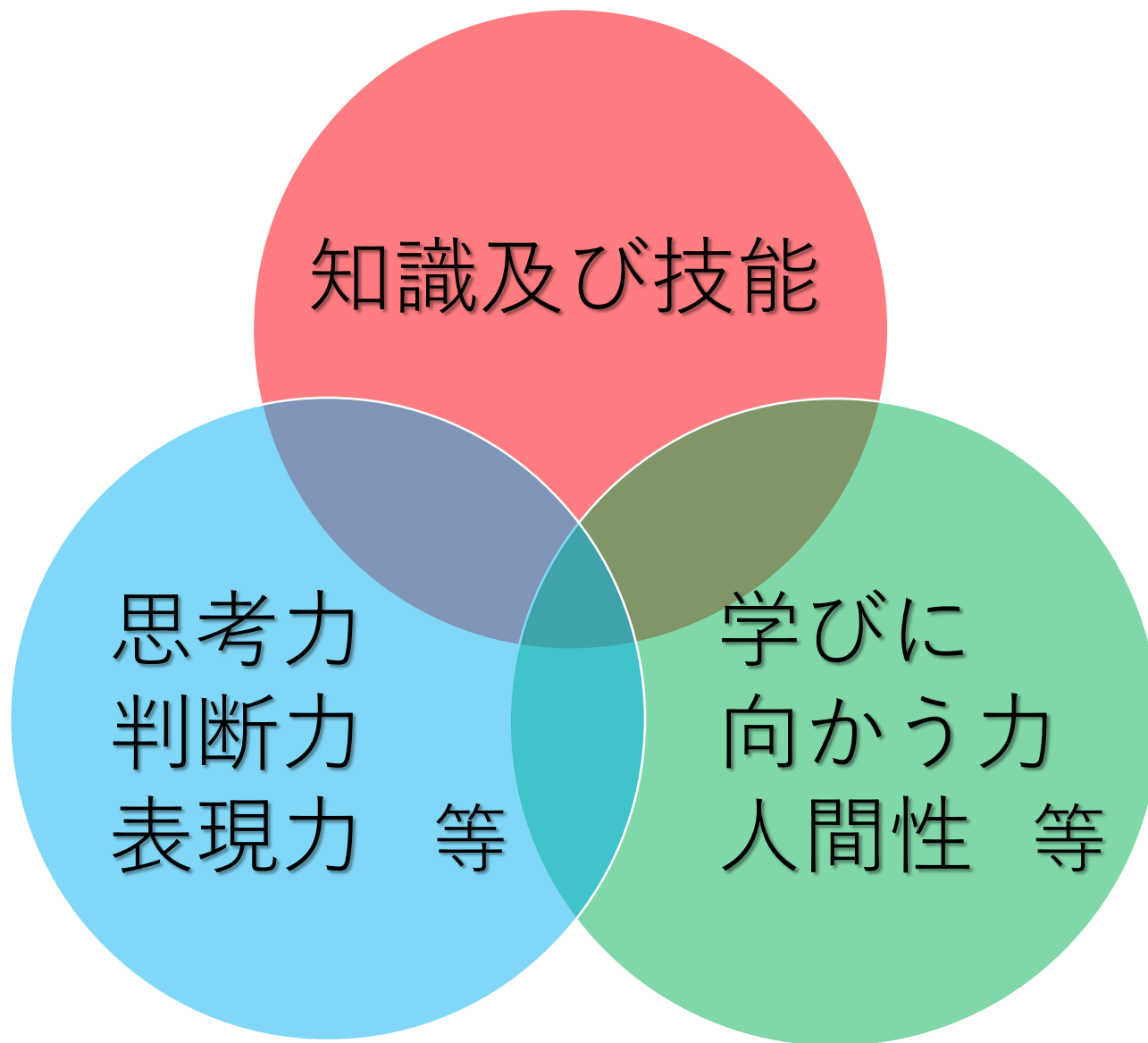
宮崎県の課題

条件を満たしていない

無回答率が高い



新学習指導要領



苦手意識

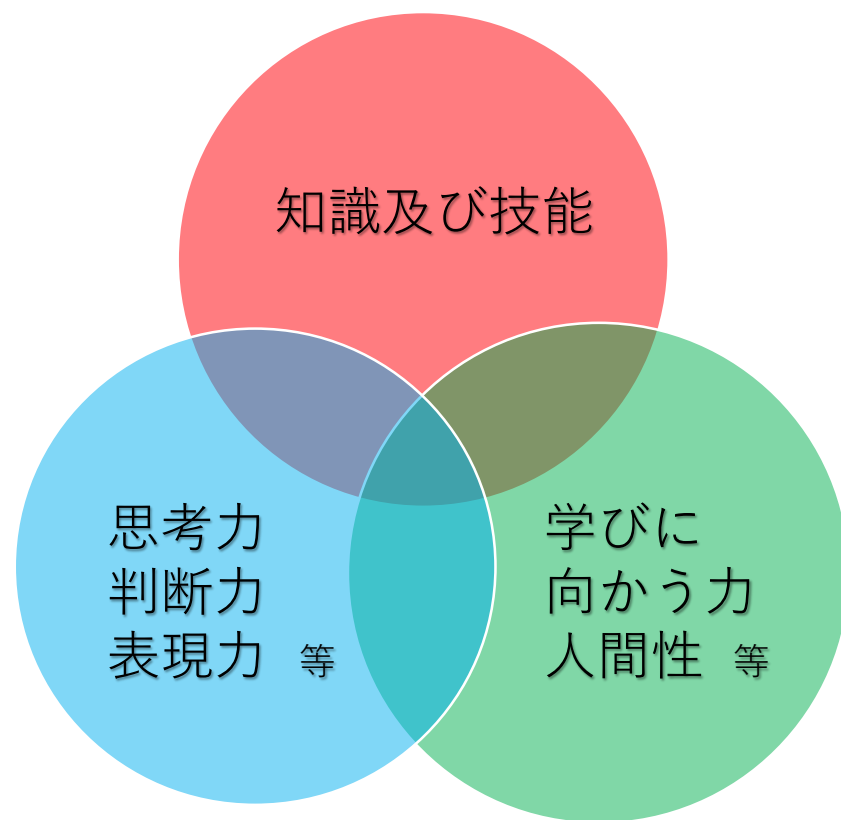


「書く」言語活動

の不足

地域の実態

焦点化



新学習指導要領

書くこと

〔研究主題〕

自分の表現を磨き、意欲的に
創作活動に取り組む生徒の育成
～豊かに書くことの指導を通して～

創作などの学習内容の中で、
自分の表現を磨くことなど

はじめに

実態の分析

研究の内容①

研究の内容②

研究の内容③

成果と課題

1

学習用語の活用

2

単元計画の工夫

3

学習支援の工夫

1 学習用語の活用

宮崎県中学校教育研究会国語部会

【研究主題】

**ことばを生かし、学びをつなぐ
国語教室の創造**

共通理解・共通実践

ことば

語彙

学習用語

教材内概念を理解するために必要な用語



【索引】学習のための用語一覧

教科書で学習する主な用語を、領域ごとに五十音順にまとめた。数字は、用語について主に解説しているページを示す。必要に応じて活用し、言葉の力を身につけよう。

話すこと・聞くこと		
あ	い	う
□ 宛先……………115・273	□ 作者……………115・273	□ 場面……………115・273
□ 宛名……………115	□ 時差の挨拶……………272	□ 対論……………140
□ 後付け……………115	□ 読む質問……………271	□ はがき……………273
□ 意見文……………134	□ 主文……………115	□ 展覧会……………136
□ インタビュー……………271	□ 表紙……………115・273	□ 広げる質問……………271
□ リングノート……………270	□ 挿絵……………116	□ ファクシミリ……………273
□ 帯グラフ……………270	□ 前文……………115	□ 封筒……………272
□ 折れ線グラフ……………270	□ 要約型……………136	□ プレゼンテーション……………54
か	え	お
□ ガイドブック……………34	□ 通信文……………114・272	□ 棒グラフ……………270
□ 読書文……………184	□ 手紙……………114・272	□ 本文……………115・273
□ 起承転結……………218	□ 電子メール……………114・273	□ 本文……………115
□ 結語……………115・273		



学習用語の反復使用

定 着

円滑な学習

学習効果

ここでは
「直喩」
を使ってみよう



1

学習用語の活用

共通実践



前時の振り返り

内容の定着

学習の見通し

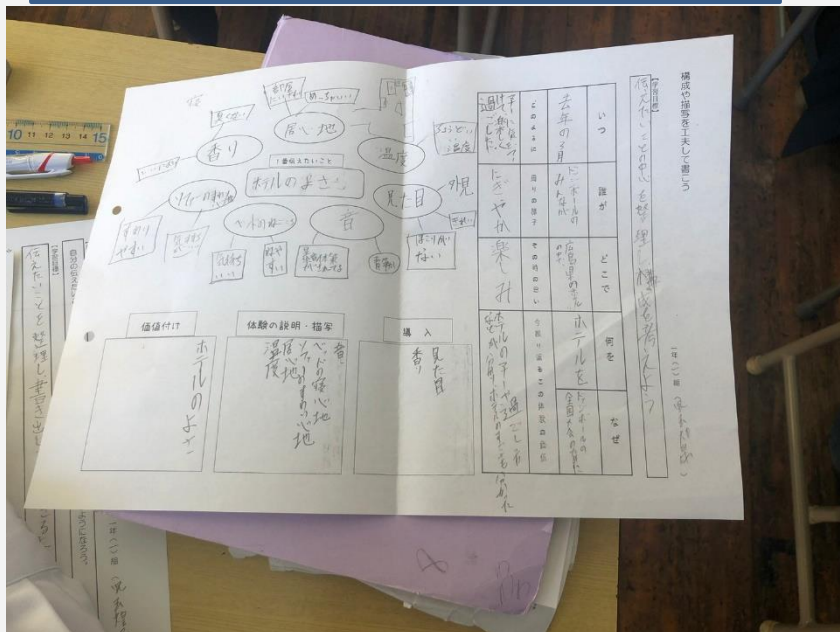
端的な指示

教師側



円滑な学習

生徒側



学習効果

指示の理解

話題の焦点化

意思の疎通

思考の深化

1

学習用語の活用

2

単元計画の工夫

3

学習支援の工夫

2

単元計画の工夫

身につけさせたい力



何を

どのように

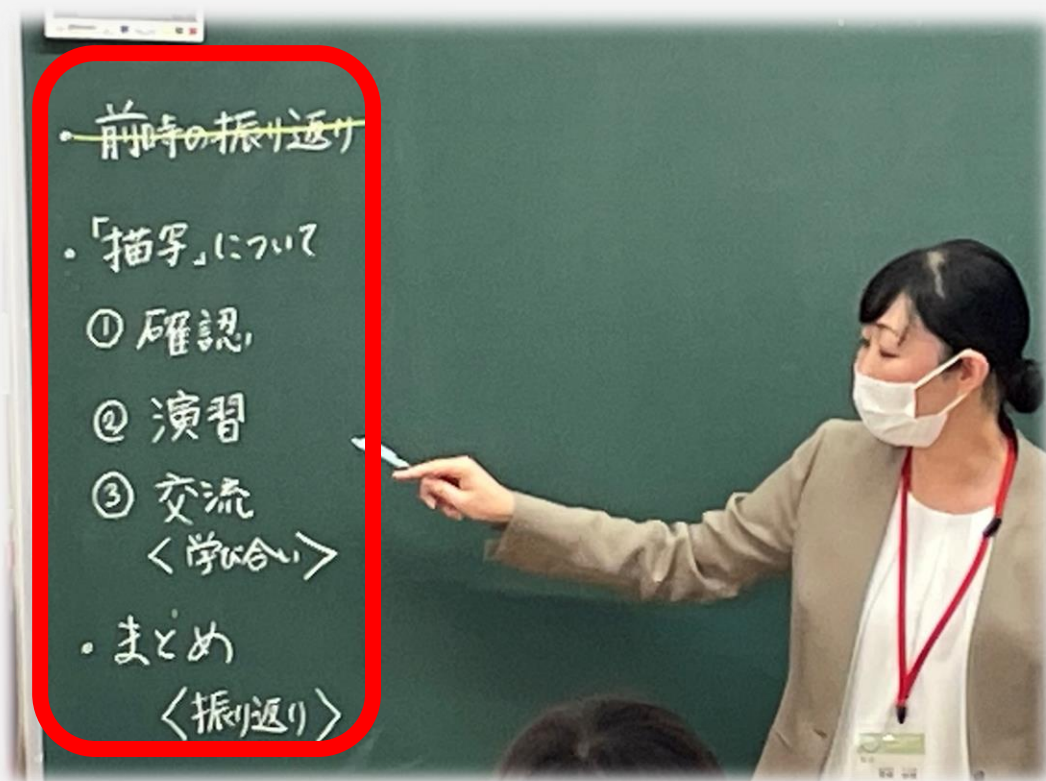
学ぶか

○ 学習内容の**見通し**をもつ

2

単元計画の工夫

アウトラインの提示



2

単元計画の工夫

これからにつなげる	自己評価	授業の振り返り	学習の前	教材名																										
今後の目標：「自己評価」をふまえて、今後の学習に向けた目標を書こう。 ・自己評価がA・Bの人は、学んだことを今後の学習や生活にどう生かしたいか、考えて書こう。 ・自己評価がCの人は、やり残したことがあると思う人は、今後の学習に向けてどのようなことをやればよいか、考えて書こう。（例 ノートを見返す、先生や友だちに聞いてみる）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>★自己評価の理由（）</th> <th>目標達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>（よ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>かった）</td> </tr> </tbody> </table>	★自己評価の理由（）	目標達成度		（よ）		かった）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>友だちと交流し、</th> <th>随筆を書く。</th> <th>随筆の「題材」を</th> <th>成を考える。</th> <th>生き生きと伝わる</th> <th>えて、練習する。</th> <th>随筆の特徴を知る</th> <th>学習の流れ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	友だちと交流し、	随筆を書く。	随筆の「題材」を	成を考える。	生き生きと伝わる	えて、練習する。	随筆の特徴を知る	学習の流れ									<table border="1"> <thead> <tr> <th>★①や②を達成するために、書くときに注意したいと思うことは？</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> ① 情景や心情を適切に表す語句を選ぶようになる。 ② 書く内容の中心が明確になるように、構成や描写を考えて書く。 </td> </tr> </tbody> </table>	★①や②を達成するために、書くときに注意したいと思うことは？	目標		① 情景や心情を適切に表す語句を選ぶようになる。 ② 書く内容の中心が明確になるように、構成や描写を考えて書く。	構成や描写を工夫して書こうー体験を基に随筆を書く
★自己評価の理由（）	目標達成度																													
	（よ）																													
	かった）																													
友だちと交流し、	随筆を書く。	随筆の「題材」を	成を考える。	生き生きと伝わる	えて、練習する。	随筆の特徴を知る	学習の流れ																							
★①や②を達成するために、書くときに注意したいと思うことは？	目標																													
	① 情景や心情を適切に表す語句を選ぶようになる。 ② 書く内容の中心が明確になるように、構成や描写を考えて書く。																													

・単元で身につけたい力の確認

・ゴールイメージの共有

2

単元計画の工夫

これからにつなげる	自己評価	授業の振り返り						学習の前	教材名	国語	
今後の目標：「自己評価」をふまえて、今後の学習に向けた目標を書こう。 ・自己評価がA・Bの人は、学んだことを今後の学習や生活にどう生かしたいか、考えて書こう。 ・自己評価がCの人は、やり残したことがあると思う人は、今後の学習に向けてどのようなことをやればよいか、考えて書こう。（例 ノートを見返す、先生や友だちに聞いてみる）	★自己評価の理由（右の評価をした） 目標達成度 （よくできた） A （きなかった）	友だちと交流し、仕上げる	随筆を書く。	随筆の「題材」を選び、構成を考える。	生き生きと伝わる描写を考えて、練習する。	随筆の特徴を知る。	学習の流れ	日付	★①や②を達成するために、書くこと 目標 ①情景や心情を適切に表す語 ②書く内容の中心が明確になる	構成や描写を工夫して書こうー体験を基に随筆を書く	組 番 氏名（

単元の学習計画を示し、見通しをもたせる。

単元計画の工夫

国語 学習振り返りシート 組 番 氏名 ()

教材名		構成や描写	
★①や②を達成するた	目標 ①情景や心情を ②書く内容の中		

授業の振り返り					
友だちと交流し、仕	随筆を書く。	随筆の「題材」を選	成を考える。	生き生きと伝わる描	随筆の特徴を知る。
学習の流れ					

学習の前	
★①や②を達成するた	目標 ①情景や心情を ②書く内容の中

自己評価	
★自己評価の理由(右の評価をした理由を書こう)	目標達成度 (よくできた) (できた) (あまりできなかった)

これからにつなげる

今後の目標: 「自己評価」をふまえて、今後の学習に向けた目標を書こう。

・自己評価がA・Bの人は、学んだことを今後の学習や生活にどう生かしたいか、考えて書こう。

・自己評価がCの人は、やり残したことがあると思う人は、今後の学習に向けてどのようなことをやればよいか、考えて書こう。(例 ノートを見返す、先生や友だちに聞いてみる)

単元の学びを振り返り、次の学びや生活へとつなげる。

て分かった!・ここが課題

描写を考えて書く。

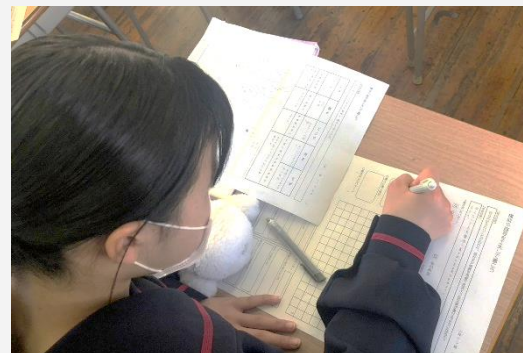
思うことは?

なる。

と基に随筆を書く

2

単元計画の工夫



演習

『描写を学ぶ』

スモールステップ

モデル文に学び、練習課題に取り組む。



活用

『随筆を書く』

言語活動

随筆の題材を選び、構成を考え、随筆を書く。

演習

『描写に学ぶ』

スモールステップ

モデル文に学び、練習課題に取り組む。

① 数パターンのモデル文を比較



情景描写のある文と
ない文

5W1H型・心の声型・
自分の考え型

印象の
変化は？

文章の内容
にあった
表現は？

演習

『描写に学ぶ』

スモールステップ

モデル文に学び、練習課題に取り組む。

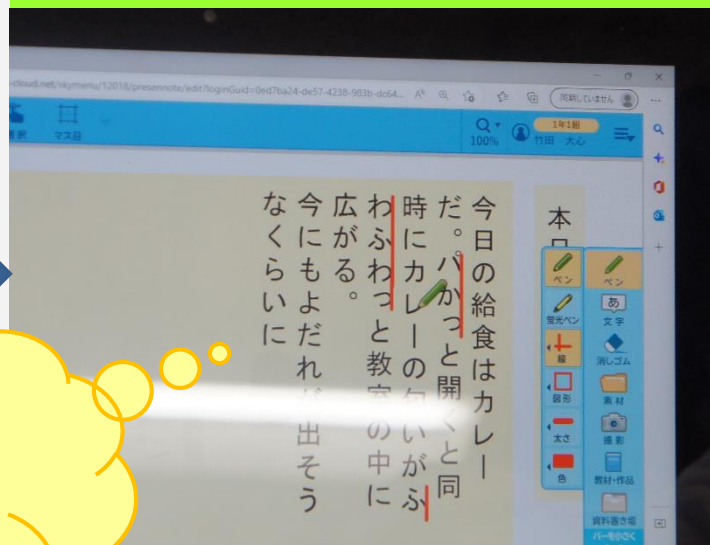
② 共通場面の描写に挑戦

「給食」の動画視聴



フカレー

描写→交流



友達の表現の工夫
に学ぶ

2

単元計画の工夫



演習

- ・ 「書くこと」のハードルを下げる
- ・ レディネスを揃える



活用

『随筆を書く』

言語活動

随筆の題材を選び、構成を考え、随筆を書く。

1

学習用語の活用

2

単元計画の工夫

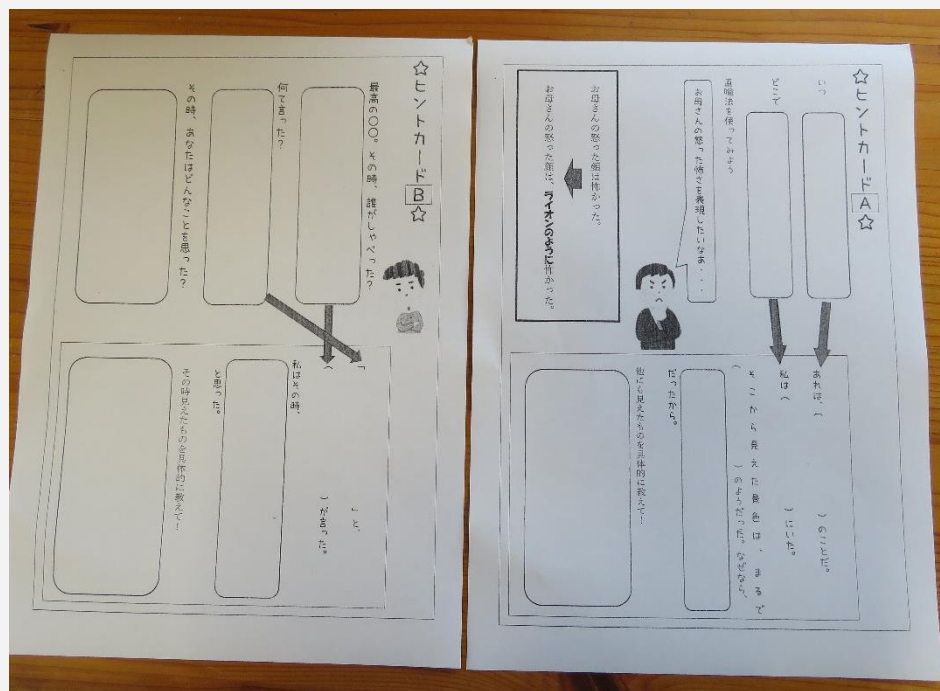
3

学習支援の工夫

3

学習支援の工夫

○ 自分の表現をより豊かにするために



ヒントカード
(書き出しの工夫)

文章構成の可視化

チャレンジカード

3

学習支援の工夫

○「書くこと」への抵抗を和らげるために



タブレット端末の利用



書き直しのしやすさ

他の生徒の書きぶり
→ 交流のしやすさ

3

学習支援の工夫



はじめに

実態の分析

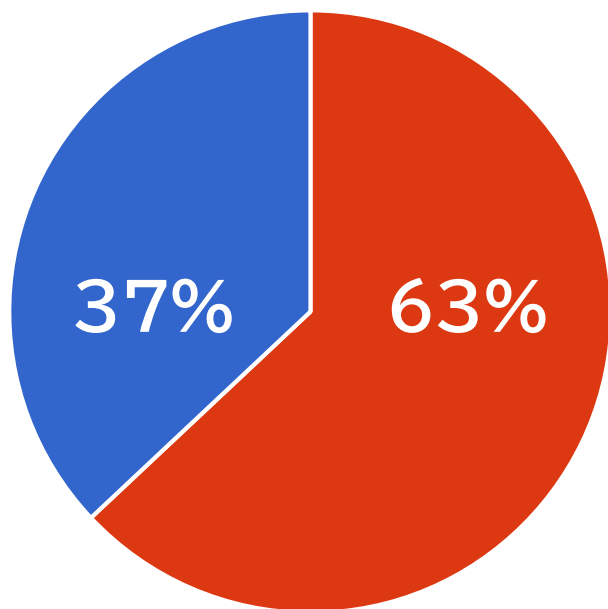
研究の内容①

研究の内容②

研究の内容③

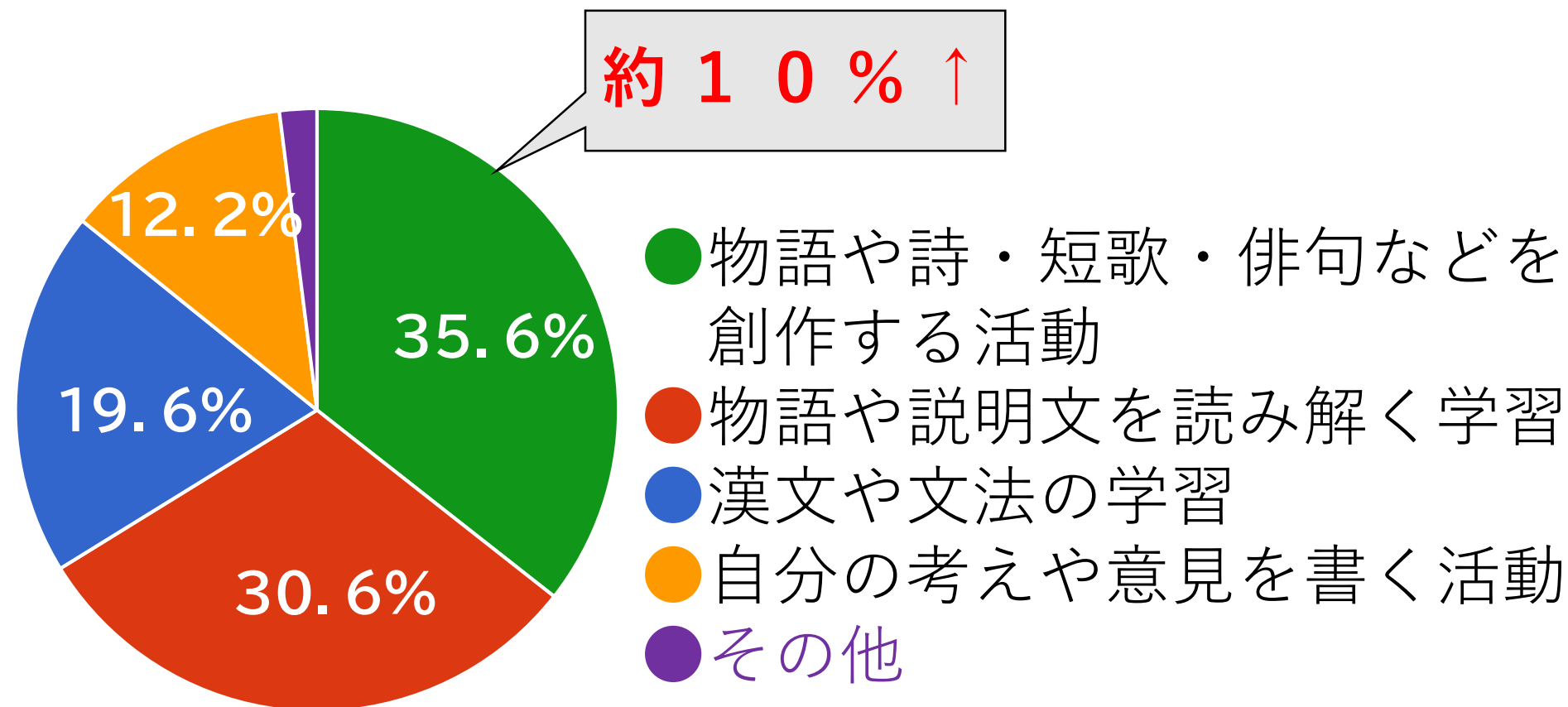
成果と課題

昨年に比べて、国語が好きである

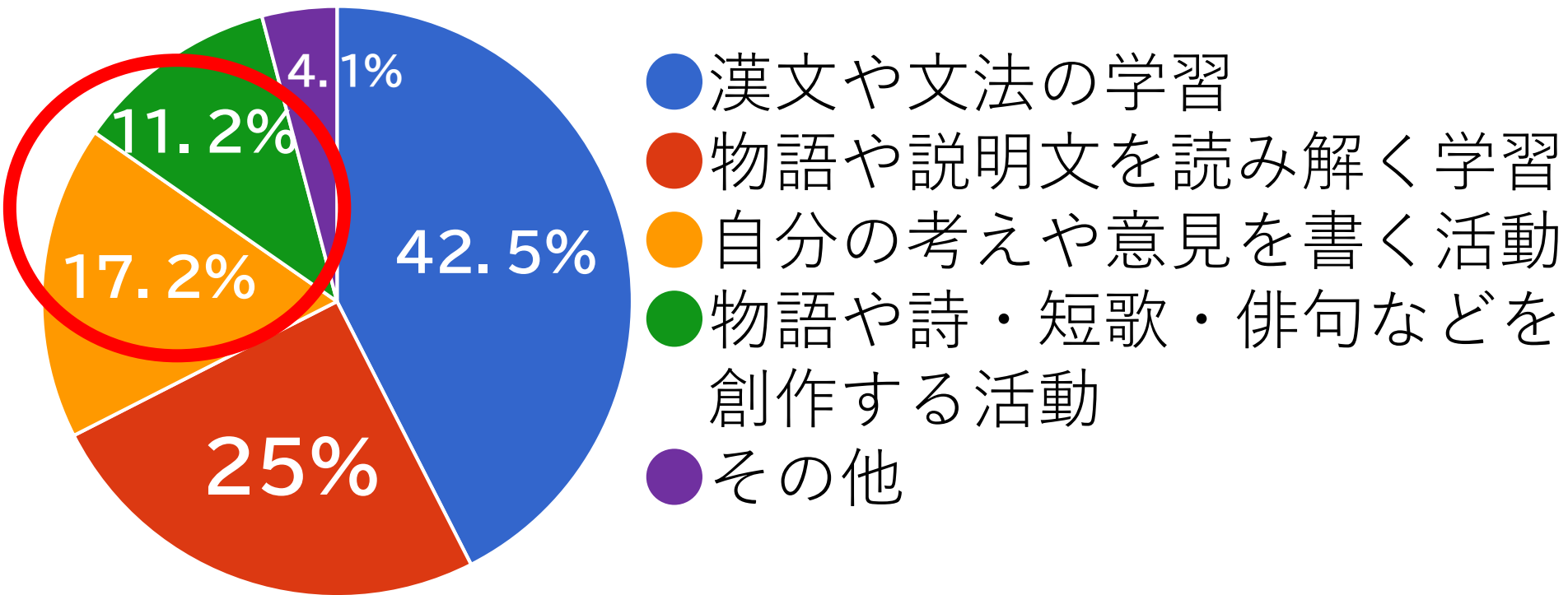


- あてはまる
どちらかといえばあてはまる
- あてはまらない
どちらかといえばあてはまらない

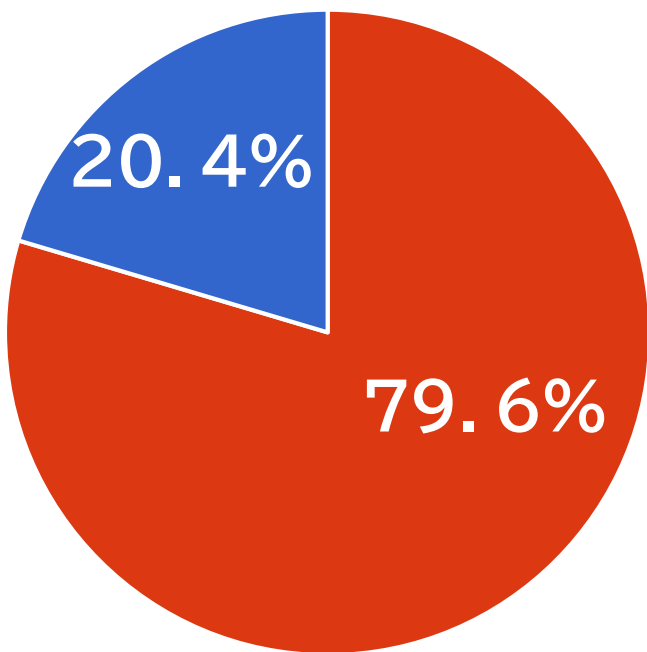
特にどのような学習が好きですか。



特にどのような学習が苦手だと感じますか。

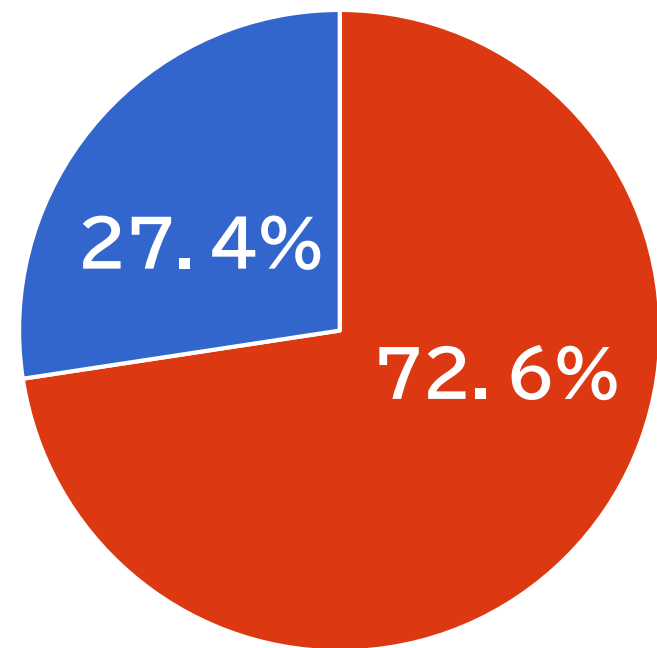


昨年に比べて、伝えたい気持ちを 書くことができる



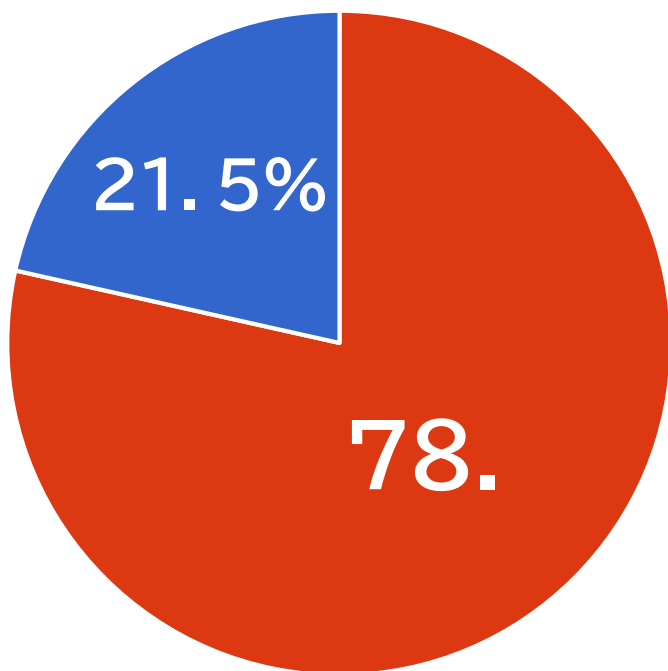
- あてはまる
どちらかといえばあてはまる
- あてはまらない
どちらかといえばあてはまらない

昨年に比べて、自分で満足できる
文章を書くことができた。



- あてはまる
どちらかといえばあてはまる
- あてはまらない
どちらかといえばあてはまらない

昨年に比べて、書きたいことを まとめることができる

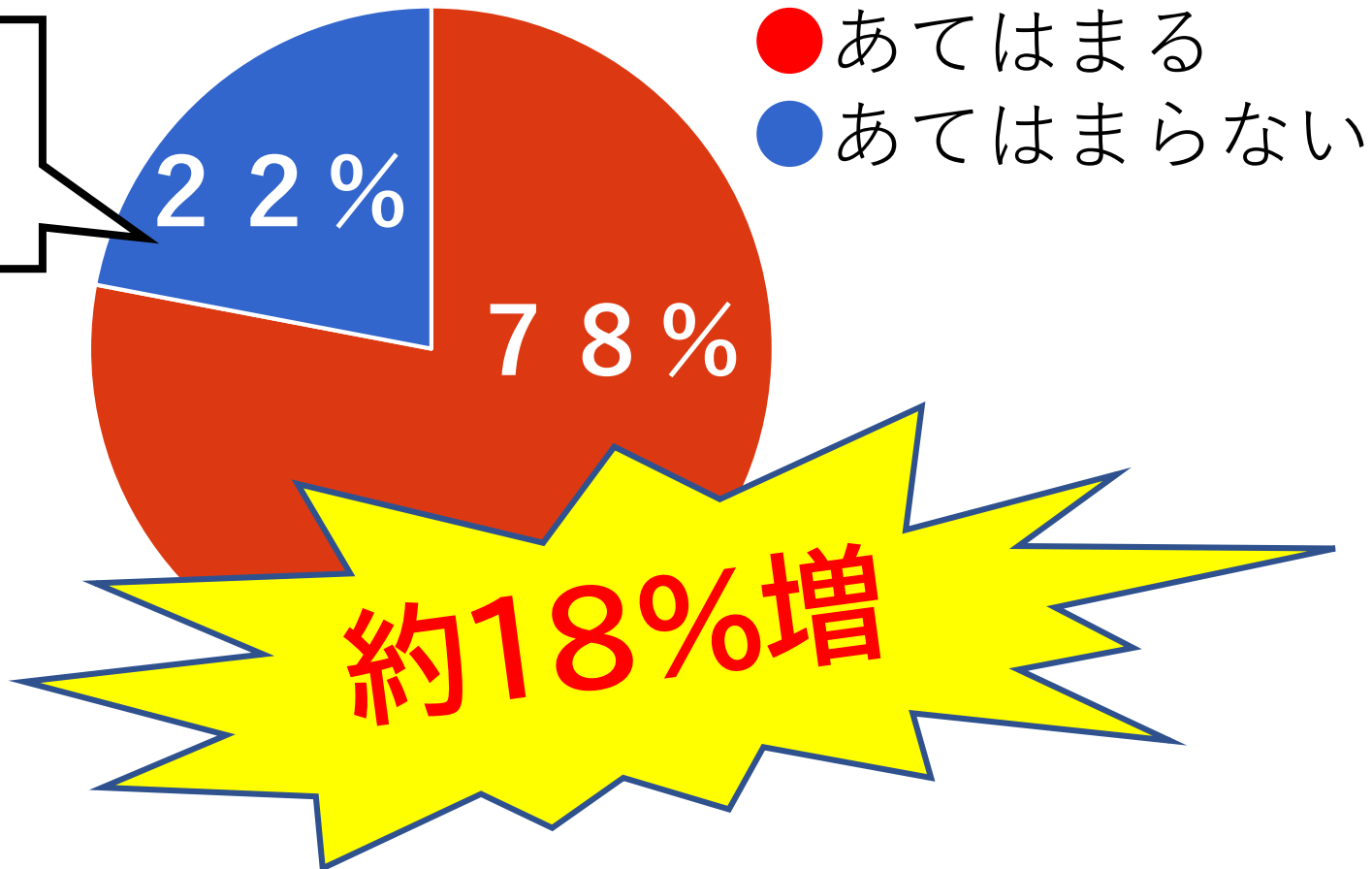


● あてはまる
どちらかといえばあてはまる

● あてはまらない
どちらかといえばあてはまらない

昨年に比べて何を書いたらいいのかわかるようになった。

昨年は
約40%



《成果》

豊かに書くことの指導

学習用語

単元計画

学習支援



言葉の選択ができる

表現の幅の広がり

創作活動への興味・関心の高まり

主体的な学び

《課題》

- 学習用語活用の継続的実践
- 創作活動に興味をもたせる効果的な手立て
- 場面に応じたデジタルとアナログのベストミックス

ご清聴ありがとうございました。



ことばを生かし、学びをつなぐ

国語教室の創造

～自分の表現を磨き、意欲的に
創作活動に取り組む生徒の育成～

〔日向・東臼杵地区〕実践報告

日向市立財光寺中学校

島原 沙弥香